

がん哲学外来 メディカル・カフェ@よどばし

がん哲学外来とは、
がんと告知されてから、あなたが考える
「悩み・不安・想い・願望」などを
直に聴いて「解消できる道」を一緒に探し
「医療の隙間」を埋める活動です。
がんを患うご本人だけでなく、
支えられている家族の方々の相談も行います。
今や世界的にも注目されている
「がん哲学外来 メディカル・カフェ」
是非どなた様も、お気軽にご参加ください。

がん哲学外来 メディカル・カフェ@よどばし

(現在、感染症対策のため、ミニ講演と質疑応答の
短縮プログラムとなり、カフェタイムはありません。
今後コロナの状況次第で変更されます。)

2023

- 1月 24日 (火) 13:30 ~ 15:00
- 2月 14日 (火) 13:30 ~ 15:00
- 3月 14日 (火) 13:30 ~ 15:00
- 4月 25日 (火) 13:30 ~ 15:00
- 5月 23日 (火) 13:30 ~ 15:00
- 7月 2日 (日) 13:30 ~ 15:00
メディカル・カフェ@よどばし 9周年記念
- 8月 22日 (火) 13:30 ~ 15:00
- 9月 19日 (火) 13:30 ~ 15:00
- 10月 24日 (火) 13:30 ~ 15:00
- 11月 14日 (火) 13:30 ~ 15:00
- 12月 12日 (火) 13:30 ~ 15:00

恵泉女学園理事長

順天堂大学 名誉教授

新渡戸記念中野総合病院 新渡戸稲造記念センター 長

一般社団法人がん哲学外来理事長

ひの おきお
樋野 興夫 先生

会費無料

(自由献金があります。)

※講師のご都合で日程が、また感染症対策の状況でプログラムが変更致しますので、
事前に日程を今一度ご確認ください！個人面談の予約は3日前までをお願いします。

【専用サイト】

<https://yodobashi-church.com/new/blog/local/medicalcafe/opening-3> E-mail: yobashi@church.email.ne.jp



ウエスレアン・ホーリネス教団 淀橋教会

<https://yodobashi-church.com>

169-0073 新宿区百人町1-17-8 TEL 03-3368-9165



JR大久保駅北口より徒歩1分
JR新大久保駅より徒歩3分

がん哲学外来

メディカル カフェ

< がん哲学外来 メディカル・カフェとは? >

多くの人は、自分自身又は家族など身近な人が「がん」にかかった時に初めて「死」というものを意識し、それと同時に、「自分がこれまでいかに生きてきたか」「これからどう生きるべきか」「死ぬまでに何をなすべきか」を真剣に考えます。一方、医療現場は患者の病状や治療の説明をすることに手一杯で、がん患者やその家族の精神的苦痛までを軽減させることができないのが現状です。

このような医療現場と患者の間にある「隙間」を埋める役割をするのが、国内外で今注目されている「がん哲学外来」です。今は数人に一人は「がん」にかかると言われている時代です。「がん哲学外来 メディカル・カフェ」は、診断・診察の場ではなく、「真の心の通じる対話とは?」「寄り添うとは?」を学び合う「人間学」の場です。人は言葉によって傷つくこともあります、言葉によって癒されるのも事実です。「たましいに届く言葉の処方箋」を頂き、お茶を飲みながら、共に場を共有し、共に泣き、共に喜び・・・帰る時には心が軽くなる場、それがメディカル・カフェです。がん患者の方々、ご家族の方々、ご友人の皆様、医療関係者、ご自身の将来の備えのために・・・と、様々な立場の方が、ご参加してくださっています。

柔和で謙遜な樋野先生から2014年に「よどばし」で処方された名言のホンの一部をご紹介しますと・・・「人生いばらの道、されど宴会」「病気であっても病人ではない」「解決できなくても、解消はできる」「誰でも分け隔てなく“がん”になる可能性があるという意味で平等だが、その平等にいかにかに反応するかは、各自の自由意思」「日間（ひま）になった時に気づく使命感」「どんな境遇でも自分を見守ってくれる人がいるとわかると人は生きていける」「偉大なるお節介（益）と、余計なお節介（迷惑）の違い」「他人の必要に共感する。正論よりも配慮が必要」「To doの前のTo be」・・・。他にもたくさんありました！

特別講師 恵泉女学園理事長、順天堂大学 名誉教授
新渡戸記念中野総合病院 新渡戸稲造記念センター 長
一般社団法人がん哲学外来理事長

樋野 興夫 先生

<プロフィール>

1954年、島根県生まれ。順天堂大学名誉教授。順天堂医学部病理・腫瘍学客員教授、医学博士。新渡戸稲造記念センター 長。一般社団法人がん哲学外来理事長。日本癌学会理事、第99回日本病理学会総会会長、日本家族性腫瘍学会名誉理事長、がん哲学外来市民学会代表ほか。2008年日本で初めて「がん哲学外来」を開設し、翌年NPO法人の設立を経て、2013年一般社団法人がん哲学外来を設立。不安を抱えた患者さんに対話を通じて支援したいという思いでの講演活動は、大きな反響を呼び、全国に「がん哲学外来」が開設されている。

<がん哲学外来・メディカル・カフェ@よどばし 参加者の声> ****

- ・毎回楽しみにしています。始めは一人で参加していましたが、樋野先生のお勧め通り最近では夫婦で参加しております。最近、家族関係が良くなってきました！日々勉強！これからも継続して通いたいです！
- ・近くに住んでいますが、月に一度のメディカル・カフェがとても楽しみです。
- ・樋野先生の柔和な何とも言えないお姿と声を聞いただけで癒されました！嘘みたいな話ですが、本当です。すごく感動致しました。
- ・毎月お菓子がグレードアップしていくのがすごいです。コーヒーはカフェ並みの味ですね。
- ・決して「元気です」とは言えない日々ですが、心は穏やかです。このような私だからこそ活躍できる場が与えられてうれしいです。まさかこのような日が来るとは夢にも思いませんでした。
- ・何度「目からうろこが落ちた」ことでしょうか。とにかくすごいです。感動しました！
- ・この場は安心できます。普段は言えないグチをひとしきり聞いてもらったらなぜか不思議に『ま～、良いか』と思えるのが不思議です。樋野先生のおっしゃられる「最善を尽くしたら、あとは心の端でそっと心配。どんなに心配してもどうせなるようにしかならない。」という言葉が妙に納得しています。
- ・樋野先生のカウンセリングを受けて心が軽くなりました。
- ・家で「樋野語録」流行っています。学んだことを失敗しながらも家族で少しずつ実践しています。